

KSKPコリアボランティア協会ニュース, No.20 (1996.9.4号)

コリアボランティア協会編集部編

発行:大阪 : コリアボランティア協会, 1996.10.29. ; 8,[4]p

請求記号:震災-7-z82

※震災関連記事のみテキスト化しています

より一層の支援を！

去年に続き今年も、7月6日（土）、松原第三中学より当協会へ「聞き取り」訪問があり、感想文集など交換する中で、夏休みを利用して、震災支援を共にすることになりました。

7月20日（土）を始め、毎週火曜日（7/23・30、8/6・13・20・27）と7回にわたり、神戸市長田区蓮池町の西代仮設住宅を訪問しました。

その間、被災体験の聞き取り、個別訪問と文通申し入れ、周辺清掃、ふとん干しなどの手伝い、肩たたき、入院中の方々のお見舞いなどをしました。

仮設住宅の方々にとっては、孫のような年令の中学生の訪問は、今までの支援とはまた違った心のなぐさめになったのではないかと思います。仮設住宅の子供たちとも、以前にもまして仲良くなることができました。

しかしその間、仮設住宅では、心身の衰弱などのために、5名の方々が亡くなりました。

仮設住宅内でも、有志の方が必死の救援活動を続けておられますが、孤立無援の状態です。コリアボランティア協会としても、これからも被災地に通い続け、現地基地を造るなど、何としても応援を続けて行きたいと思います。

松原第三中学のように、文通など、学校ぐるみでできる支援の輪が広がって行くことは、現地はもとより、県外被災者の方々にも大きな励みになるでしょう。この夏にできた新たな震災支援の灯を消すことのないよう、みなさんも応援（ボランティア協力、支援カンパ）して下さい。

（鄭チョン）

(c)1996コリアボランティア協会編集部(デジタル化：神戸大学附属図書館)